
目次

- 【01】 事業報告1
 - 大阪府国際化戦略実行委員会をよろしくお祈いします！
- 【02】 事業報告2
 - ワン・ワールド・フェスティバルを開催しました！
- 【03】 事業報告3
 - 大阪府海外移住家族会『海外移住家族会講演会-ブラジル移住35年の真実-』を開催しました。
- 【04】 事業報告4
 - 新入管法の説明会
- 【05】 大阪府外国人情報コーナーだより
 - 新入管法
- 【06】 地域人材育成事業レポート
 - 《OFIXへ感謝を込めて》 - 石田真千
- 【07】 お知らせ
 - 「おおさかグローバル塾」受講生募集のお知らせ
- 【08】 OFIX国際交流員のレポート
 - 「ホワット・イズ・ユーア・ネーム?」

【01】 事業報告1

- 大阪府国際化戦略実行委員会をよろしくお祈いします！

大阪府国際化戦略アクションプログラムは平成23年10月に策定され、このプログラム事業を具体化するために、同年11月には大阪府国際化戦略実行委員会を立ち上げました。

実行委員会は、大阪府と(財)大阪府国際交流財団で設置し、両者の職員で運営されています。

今後、アクションプログラムのうち、おおさかグローバル塾やおおさかグローバル体験プログラムなどのグローバル人材の育成や外国人留学生の受入促進などは、実行委員会で推進していきます。

(財)大阪府国際交流財団では、アクションプログラムの中の外国人相談や通訳・翻訳ボランティアの育成・派遣などの多言語支援を重点的に実施していきます。また、アクションプログラム事業とともに、大阪府堺留学生会館オリオン寮の管理運営や災害時のネットワークづくりなど、これまで取り組んできた事業にも引き続き力を入れてまいります。

(財)大阪府国際交流財団ともども大阪府国際化戦略実行委員会をどうぞよろしくお祈いします。

【02】 事業報告2

- ワン・ワールド・フェスティバルを開催しました！

「ワン・ワールド・フェスティバル」が2月4日、5日に大阪国際交流センター(アイ・ハウス)で開催されました。今年で19回目を迎えるこのイベントは、関西に拠点を置く100団体以上のNGO・NPOや国連機関、企業などが一同に会し、府民に広く国際協力の大切さを認識してもらうため、「共に生きる世界を作るために一人ひとりができること」をテーマに、各団体の活動紹介、シンポジウム、ワークショップ等を行う、世界につながる国際協力のお祭りです。趣向を凝らした展示による活動紹介ブースや民族音楽・舞踊のステージ、映画上映、民族衣装の着付け体験、民族料理の模擬店、など様々なプログラムが開かれ、参加者は楽しみながら、国際協力・世界文化を身近に体験することができました。特

に、メキシコのタコス、トルコのケバブ、フィリピンの焼きビーフンなど、世界各国の料理を味わうことができる民族料理模擬店は大盛況でした。

OFIXは、ブースを出展し、活動内容を紹介するとともに、クイズラリーに参加しました。子どもから大人まで色々な人々と交流ができた有意義な二日間でした。また、4日(土)に大阪国際交流センターと共同企画、大遊協と協力で「海外留学フォーラム」を開催しました。元留学生の加藤良子さんと中国国籍留学生のカン・セイトウさんは自分の留学生生活、海外留学をとおして学んだこと、海外留学の重要性などについて発表しました。参加者は21名を超え、加藤さんとカンさんの話を真剣に聞いていました。発表の後、OFIXの染矢美沙さんの指導で、参加者たちは3つのグループに分け、テーマである「海外留学と自分の未来」に関しての3つの課題についてディスカッションをして、思いついたアイデアを小さな紙に書いて、そして、大きな模造紙に貼ってもらいました。

ディスカッションでは、YMCAの小路清一先生と労働協会の栗田美智子先生がテーブルを回りながら、参加者にアドバイスをしていました。多くの面白い話が出てきて、各グループで盛り上がっていました。そして、最後に各グループの代表者はグループの中で話したことを発表しました。大ホール・小ホールを使った著名人によるプログラムが増えたこと、参加団体関係者の増加などにより2日間にわたるフェスティバルの参加者は17,000人が参加しました。参加団体も、相互の情報交換、ネットワークづくりができるなど、非常に意義深いイベントとなりました。

【03】事業報告3

■大阪府海外移住家族会『海外移住家族会講演会-ブラジル移住35年の真実-』を開催しました。

OFIXが事務局を務める大阪府海外移住家族会は、去る1月24日(火)に、平成23年度の研修会として島根県海外移住家族会 会長 百合澤 正志様を講師にお招きして『海外移住家族会講演会-ブラジル移住35年の真実-』を開催しました。

当日は会員、会員紹介の友人、OFIXボランティア等の他、来賓としてJICA大阪、大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 国際交流・観光課からもご出席いただき、また前回の講師を務めていただきました、(財)なら・シルクロード博記念国際交流財団の玉田 エミリア 美恵 様もご参加くださいました。

講師の百合澤様からはブラジルへ移住された経緯、移住時のご苦労や胡椒ビジネスの成功体験、日本に帰国されてから現在までの歩みなど、ご自身の経験・体験に基づいたお話を通じて、海外移住に知識のある会員の中にも、改めて移住者の過酷な状況やブラジルの治安などに関する気付きがあった、とても有意義なご講演をしていただきました。

大阪府海外移住家族会では今後も日系人支援や理解に関する活動を継続していく予定です。

※大阪府海外移住家族会では、日系人とその家族の支援にご協力いただける新しい会員を募集しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

【04】事業報告4

■新入管法の説明会

「新入管法の説明会」を堺オリオン寮で1月21日に開催しました。出席者は午前9時15分からの開催とあって、堺市近辺にお住まいの方が中心で、寮に入居している留学生を含め20名程度でした。約30分の行政書士からの説明を受けた後、新たな制度に関する質疑応答が活発になされました。また、会の後も行政書士へ個人的な在留資格上の質問を行う参加者の姿も見られました。

【05】大阪府外国人情報コーナーだより

■新入管法

今年7月9日から新たな在留管理制度が始まります。今回の改正の柱の一つは「在留カード」の交付になります。従来の外国人登録証が最終的に2015年7月8日までに切り替わることになります。このカードが交付される

のは、特別永住者を除く、3カ月を超える在留資格が認められた外国人になります。外国人登録証との大きな違いは、①在留資格の変更や更新をする毎に新たなカードが交付されること、②転居する際には、今まで不要であった「転出届」が必要になること、③「就労の制限の有無」が記載されるという点になります。特に改正法施行日後に在留カードの交付を希望される場合は、「在留カード事前交付申請」を地方入管で7月8日まで受け付けています。ただし、新制度になったからといって直ちに在留カードへの切替を行わなくても構いませんので、特別の理由がある人以外は、申請をする必要はありません。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月-金曜日(祝日を除く))

(対応時間: 9:00-17:30)

専用電話: 06-6941-2297 F A X: 06-6966-2401

E-mail: jouthou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

[06] 地域人材育成事業レポート

■《OFIXへ感謝を込めて》 - 石田真千

この度2月末で契約満了となるため、3人より退職の挨拶のご挨拶を申し上げます。

ご挨拶が遅れましたが、昨年6月よりOFIXで語学能力活用人材として採用され勤めて参りました石田真千と申します。子供の頃に2カ国の海外滞在経験とカナダでの海外勤務経験があり、今までに様々な国籍の人たちとの交流した経験を通して外国人のために役立つ人材になるべく努めて参りました。

では、一緒に学んで来た2名(塩田、伊藤)も交えて、OFIXでの経験を振り返ってみましょう。

石田: 私自身OFIXで英語を活かして業務を行う機会ができ、またさまざまな国際交流の企画のサポート業務などに携わり多くの貴重な経験ができたことにとっても感謝しています。

伊藤: 希望していたスペイン語を使う業務は少なかったのですが、何度かスペイン語訳する機会を頂き、大変貴重な経験となりました。

塩田: 主にOFIXボランティア向けの研修の企画や運営を担当させて頂きました。イベントに携わるのは初めてだったのですが、学びの多い、とても貴重な経験となりました。

OFIXで最も印象に残っている業務は?

石田: 私が最も印象に残っている業務は、「安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業プログラム」のアシスタント業務です。アジアからの研修生との交流を通して、改めて同じアジア人として共通点を実感しましたし、特に帰国前に行った研修生ひとりひとりのインタビューは日本とこのプログラムに対する研修生の熱い思いを知り、私自身とても感化させられました。

伊藤: 国際理解教育で外国人サポーター9人を引率して府立高校へ伺ったことが印象に残っています。色々トラブルが重なりましたが、臨機応変に対応し無事に任務を遂行しました。

塩田: 昨年12月に実施した医療通訳ボランティア研修に思い入れがあります。研修実施のための業務を全て任せて頂き、やり遂げることができた時の喜びは格別でした。

OFIXでの経験を今後どのように活かしていきたいですか。

石田: 今後は英語力を活かしながら、さらに日本と外国をつなぐ人材として国際化社会の中で貢献していきたいです。

伊藤: 今後も外国語を使ってグローバルに活躍すべく、日々精進していきたいと思っています。

塩田: 研修という目標に向かって丁寧に正確に業務を行うことの大切さを学びました。何事にも緻密に、大切にに取り組む姿勢を忘れず、今後活かしていきたいです。

【07】お知らせ

■「おおさかグローバル塾」受講生募集のお知らせ

めざせ海外留学！ 高校生等の留学を応援する「おおさかグローバル塾」4月開講に向け、受講生を募集します！

<http://www.pref.osaka.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=9467>

海外留学に向けた本格的な英語による授業を、「米国留学コース」、「英国留学コース」の2つに分けて行い、夏には米国や英国への短期留学も実施します。詳しくはこちらをご覧ください。

米国留学コース：<http://hello.ecc.ac.jp/global/>

英国留学コース：<http://www.britishcouncil.or.jp/osakaglobal>

1 応募方法

(1) 米国留学コース希望者

応募期間：2月21日（火）－3月16日（金）

出願方法：下記WEBサイトの「応募申込み」ページから必要事項を入力の上、応募してください。

ホームページアドレス <http://hello.ecc.ac.jp/global/>

願書、学校長からの推薦状、英語資格証明書のコピー等必要書類は3月25日（日）の1次審査当日持参してください。

(2) 英国留学コース希望者

応募期間：3月1日（木）－3月19日（月）（必着）

出願方法：願書等を下記WEBサイトからダウンロードし、学校長からの推薦状、英語資格証明書のコピーを添えて郵送にて応募してください。

ホームページアドレス <http://www.britishcouncil.or.jp/osakaglobal>

2 出願資格確認試験（TOEFL Junior）実施日時

TOEFL IBT 45、TOEFL PBT (ITP) 450、TOEFL Juniorテスト750、TOEIC 520、IELTS 4.0、英検2級、国連英検B級のいずれも「お持ちでない方」は、下記のとおり出願資格確認試験（TOEFL Junior）を実施します（無料）ので、受験してください。

日時 3月11日（日）13:30-16:00（受付開始13:00）

場所 大阪市淀川区西中島5-6-6 公文教育会館（KUMON本社ビル 5F）

申込締切 3月7日（水）24:00まで

（以降は受付できませんのでご注意ください）

合格スコア 750点以上

詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.toefljunior.jp/>

3 お問い合わせ先

・米国留学コース

学校法人山口学園 ECC国際外語専門学校

電話：0120-144-968（通話無料）

〈受付時間〉 祝日を除く平日（月～金）10:00-18:00

FAX：06-6311-1440

E-mail：global@ecc.ac.jp

ホームページ <http://hello.ecc.ac.jp/global/>

・英国留学コース

ブリティッシュ・カウンスル

※お電話によるお問い合わせには応じておりません。

お問い合わせメールアドレス osakaglobal@britishcouncil.or.jp

ホームページ <http://www.britishcouncil.or.jp/osakaglobal>

【08】OFIX国際交流員のレポート

■「ホワット・イズ・ユーア・ネーム？」

こんにちは。大阪府国際交流財団の国際交流員のアルビンです！皆さんのバレンタインはいかがでしたか。真っ赤なラブラブ日だったのでしょうか。それとも真っ赤なのは家計簿の方でしょうか（赤字）。今回はちょっとま

じめな話をしようと思います。

タイトルを見て、皆さんはどんな内容を思い浮かんだでしょう?去年国際理解教育の仕事で高校生たちと英語で交流したことがあるのですが、自己紹介の時に高校生たちが紙を読みながら私の名前を英語で聞きました。「ホワット・イズ・ユア・ネーム?」その高校にはアメリカ人のALTがいて、英語でしか話さないのになぜ発音は治っていないのかとふと思ってしまいました。思いつく理由はいくつかありました。

まず、おそらく英語を勉強する時に「文字」から入ります。もちろんその文字の読み方は分からないのでフリガナがふっているでしょう。それから、発音する時に一つずつの単語の発音を強調して、文章になった時の発音は強調されていないでしょう。フリガナがふっている単語の導入から始めると日本語の発音で縛られて、日本語にはない発音の習得が難しくなるし、学生が文字に頼りすぎて文字なしだと単語を言えなくなってしまう。一つずつの単語の発音を強調することで、会話の時の自然の発音習得を防ぐし、普通の会話をすぐに聞き取れないと思います。例えば、「I ate an egg.」という分を学生に読ませると「アイ・エイト・アン・エッグ」と読むでしょう。しかし、普通の会話では、これは(カナで書くと)「アイ・イエイト・ネッグ」というふうに聞こえるでしょう。「アイ・エイト・アン・エッグ」と覚えている人は「アイエイト・ネッグ」を聞いたら、何を言っているかすぐに分からないでしょう。では、どうすればいいのでしょうか。

教えるのなら、まず、文字は見せないで「単語」ではなく、「文章」を聞かせて言わせます。(大事なことは音をカタカナとして考えさせないことです。聞いた音を真似させます。文章の意味を先に言っても構いません。)言わせることで覚えさせます。ある程度できてから文章を見せてもう一回言わせます。最後に各単語の発音の練習をすればいいです。カタカナを使わないことです。このやり方は難しいのではないかと思うかもしれないけど、実は学習者にとってこの方が楽です。なぜかという、一つのことには集中していないからです。そうです。最初は聞くことに集中。それができたら、読むことに集中できます。聞きながら文字を見せると学生は二つのことをやろうとしています：聞くことと読むことです。

先日ある支援学校に行き、フィリピンの紹介をしました。英語の授業だったので英語の歌を歌ったり、自己紹介したりしました。知的障害を持った学生たちと言っても英語の発音はとてよかったです。気になっていて、よく見たら単語カードや自己紹介用の紙にカタカナが書いていまして。そして、先生は英語の単語や文章を言って繰り返して学生に言わせていました。きっと文字より聞くことと話すことに重点をおいているのでしよう。

言葉とはもともと「会話」しかありませんでした。「文字」は後で来ました。ですから、コミュニケーションのために言語を習得したいのなら、まず「音」と「発話」から始めましょう。

★大阪府メ-ルマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメ-ルマガジンです!

⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/calender.cgi>

※イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/event.cgi>

※国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>

※OFIXボランティアの登録制度のご紹介

⇒ http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html

※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

⇒ http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

⇒ info@ofix.or.jp

≫≫ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報(レポート)はこちら

⇒ clubnews@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら

⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。

